

大会名称: 平成28年度  
第69回四国高等学校バスケットボール選手権大会

開催場所: 愛媛県総合運動公園体育館 Aコート

試合区分: No. 9 男子 2回戦

期 日: 2016(H28)年6月18日(土)

主審: 谷 隆正

開始時間: 15:00

副審: 長谷川悠貴

終了時間: 16:30

<p><b>松山工業</b></p> <p>(愛媛1位)</p>	<p>○</p> <p><b>86</b></p>	<p>29 — 8</p> <p>17 — 10</p> <p>25 — 16</p> <p>15 — 24</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>—</p>	<p>●</p> <p><b>58</b></p>	<p><b>徳島市立</b></p> <p>(徳島2位)</p>
----------------------------------	---------------------------	---	---------------------------	----------------------------------

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	権藤 史也	12	0	5	2	1
5	*	東浦 元樹	11	1	4	0	0
6		早瀬 陽介	4	0	2	0	0
7	*	宮本 尋	15	1	5	2	1
8	*	萩野 一洋	11	0	4	3	0
9	*	佐伯 祐輔	3	0	1	1	0
10		亀岡 拓矢	0	0	0	0	0
11		松尾 優夢	8	0	4	0	1
12		菊池 雄太	0	0	0	0	1
13		仙波 洋人	5	1	1	0	3
14		高橋 聖太	2	0	1	0	1
15		正岡 広暉	0	0	0	0	0
16		池内 亮太	7	1	2	0	2
17		曾我部鈴汰	4	0	2	0	0
18		青木龍之介	4	0	2	0	3
HC		宮崎 智之 / TEAM					-
		合計	86	4	33	8	13

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	森本 泰雅	20	2	5	4	2
5	*	下藤 尚輝	12	0	5	2	4
6	*	小川 大輝	8	1	2	1	1
7		佐藤 光	-	-	-	-	-
8		福原 昂大	3	1	0	0	0
9	*	柊 憲志	2	0	1	0	0
10	*	久米健太郎	6	0	2	2	5
11		山本 千尋	-	-	-	-	-
12		三好 大亮	2	0	1	0	0
13		北内 宏明	-	-	-	-	-
14		吉田 拓未	-	-	-	-	-
15		増矢 悠斗	-	-	-	-	-
16		村尾 魁仁	-	-	-	-	-
17		高橋 直也	5	1	1	0	3
18		石川 隼	0	0	0	0	0
HC		竹崎 邦俊 / TEAM					-
		合計	58	5	17	9	15

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール

第1ピリオド、松山工業はオールコートマンツーマンディフェンス、徳島市立は3-2のゾーンディフェンスでスタート。序盤から松山工業は厳しいディフェンスからの速攻や、#7の3Pシュートが決まり、試合を優位に進める。徳島市立は、インサイドの#9を起点に1対1や、速いパス回しから得点を狙うが、攻撃の糸口がつかめない。開始6分で徳島市立は1回目のタイムアウト。しかし、松山工業は#8のインサイドからの得点や#5・#6のドライブインで加点しリードを広げる。徳島市立は#4の3Pで反撃を試みるが、29-8で終了。

第2ピリオド、徳島市立はディフェンスをマンツーマンディフェンスに変える。しかし、松山工業は速い展開でゲームを進め、インサイドやアウトサイドから着実に得点する。徳島市立は39-16と点差が開いたところで2回目のタイムアウト。しかし、点差は縮まらない。選手交代を行いながら、優位に試合を進めた、松山工業リードで前半終了。

第3ピリオド序盤、徳島市立は#17の3Pや#4のドライブインで得点するが、その後は、松山工業のディフェンスに阻まれ得点が伸びない。松山工業は、選手交代を行わずにリードを保ち、71-34で第3ピリオド終了。

第4ピリオド、徳島市立は、高さが勝っているインサイドを起点に追いつけを図る。しかし松山工業も厳しいディフェンスからの速攻でリードを守り、86-58で松山工業が勝利した。

担当者: 岡本 繁幸(愛媛県高体連)

四国高等学校体育連盟・愛媛県教育委員会・四国バスケットボール協会

